

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月27日

上場会社名 日本電産サーボ株式会社
コード番号 6585 URL <http://www.nidec-servo.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

(氏名) 田島 卓也
(氏名) 坂本 博
配当支払開始予定日

TEL 0277-53-8817

平成20年12月4日

上場取引所 東

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	15,474	—	1,225	—	1,317	—	1,007	—
20年3月期第2四半期	17,491	9.0	425	—	399	—	357	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	28.33		—	
20年3月期第2四半期	10.03		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第2四半期	21,715		9,087		41.8	255.71		
20年3月期	19,549		8,303		42.5	233.54		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 9,087百万円 20年3月期 8,303百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00	5.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	28,000	△20.1	2,100	2.3	2,100	17.3	1,700	2.8	47.83	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 35,691,838株 20年3月期 35,691,838株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 155,383株 20年3月期 138,440株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 35,544,361株 20年3月期第2四半期 35,589,098株

連結業績の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、長期化する米国経済の低迷により、金融不安と世界景気の減速を招き、景気の先行きに予断を許さない状況となっております。

このような経営環境下、日本電産グループコーポレート・スローガンである「All for dreams」を旗印に、日本電産サーボ全グループ社員が一丸となって「夢を形にする社員集団」となり、常に「挑戦と成長と強さ」を追求することとし、企業価値の向上の為に企業業績の改善に努めて参りました。この結果、売上高は上述の影響もあり前年同期比20億1千7百万円減の154億7千4百万円となりましたが、営業利益は、前年同期比で8億円増の12億2千5百万円と大幅に改善する事が出来ました。

また、平成20年10月1日をもって、社名を「日本電産サーボ株式会社」に変更し、名実ともに日本電産グループの一員となりました。

〔事業の種類別セグメント実績〕

(モータ)

当社グループのモータ事業は、不採算機種種の縮小や日本電産への移管等を進めた結果、売上高は前年同期比12億7千9百万円減の132億1千2百万円となりました。営業利益は、前年同期比9億5千1百万円増の18億4千6百万円となりました。これは、生産性の向上を中心とした原価低減・経費削減等のコスト改善活動を行ったことなどによるものであります。引続き独自開発の精密ステッピングモータや高信頼性ファンモータ等の新製品を投入し積極的な拡大を図って参ります。

(モータ応用製品)

当社グループのモータ応用製品事業は、売上高前年同期比7億3千8百万円減の22億6千2百万円となりました。これは、米国市場でのアイスメーカー等が減少したことによるものであります。営業利益は、前年同期比1億3千8百万円減少の5千9百万円となりました。この分野も更なる新製品の投入と新顧客の開拓を強気に推進する予定であります。

尚、上記前年同期の金額につきましては、参考のために記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

連結貸借対照表の変動で、前連結会計年度末に比べ総資産の増加は、リース資産のオンバランス化に加え、新規設立致しましたベトナム日本電産サーボ会社における有形固定資産の増加等によるものであります。また、負債・純資産の部の増加は、前述のリース負債の増加に加え、ベトナムへの投資等による資金不足を補うための借入金増加等によるものと利益剰余金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前回公表（平成20年7月29日）致しました平成21年3月期の連結業績予想につきましては、別途発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)該当ありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用影響額が僅少な項目につき、一部簡便的処理を用いております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

リース取引に関する会計基準の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が固定資産に257百万円計上されております。なお、これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を当連結会計年度から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を当連結会計年度から適用し、評価基準については、低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,597	2,467
受取手形及び売掛金 (純額)	7,799	7,333
有価証券	—	50
製品	2,214	1,902
仕掛品	839	661
原材料	736	637
繰延税金資産	420	385
未収入金	183	150
立替消費税	103	—
その他	113	99
貸倒引当金	△96	△79
流動資産合計	14,908	13,605
固定資産		
有形固定資産	6,355	5,406
無形固定資産	135	133
投資その他の資産	317	405
固定資産合計	6,807	5,944
資産合計	21,715	19,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,735	4,497
短期借入金	2,674	2,004
未払金	1,123	814
未払法人税等	277	81
未払費用	868	875
製品保証等引当金	50	53
その他	315	359
流動負債合計	10,042	8,683
固定負債		
繰延税金負債	227	196
退職給付引当金	1,991	2,059
役員退職慰労引当金	—	5
負ののれん	—	22
その他	368	281
固定負債合計	2,586	2,563
負債合計	12,628	11,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,547	2,547
資本剰余金	3,614	3,614
利益剰余金	3,307	2,478
自己株式	△83	△67
株主資本合計	9,385	8,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30	30
為替換算調整勘定	△328	△299
評価・換算差額等合計	△298	△269
純資産合計	9,087	8,303
負債純資産合計	21,715	19,549

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	15,474
売上原価	11,783
売上総利益	3,691
販売費及び一般管理費	2,466
営業利益	1,225
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	3
為替差益	108
材料作業屑処分益	63
負ののれん償却額	22
その他	47
営業外収益合計	251
営業外費用	
支払利息	39
固定資産処分損	4
たな卸資産処分損	85
売上割引	13
その他	18
営業外費用合計	159
経常利益	1,317
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
事業構造改善費用	23
減損損失	16
その他	2
特別損失合計	41
税金等調整前四半期純利益	1,276
法人税、住民税及び事業税	227
法人税等調整額	42
法人税等合計	269
四半期純利益	1,007

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	7,745
売上原価	5,889
売上総利益	1,856
販売費及び一般管理費	1,208
営業利益	648
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	—
為替差益	54
材料作業屑処分益	30
負ののれん償却額	11
その他	20
営業外収益合計	116
営業外費用	
支払利息	18
固定資産処分損	4
たな卸資産処分損	36
売上割引	5
その他	7
営業外費用合計	70
経常利益	694
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
事業構造改善費用	—
減損損失	12
その他	1
特別損失合計	13
税金等調整前四半期純利益	681
法人税、住民税及び事業税	176
法人税等調整額	△50
法人税等合計	126
四半期純利益	555

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,276
減価償却費	529
減損損失	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△68
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5
製品保証等引当金の増減額(△は減少)	△3
固定資産処分損益(△は益)	6
為替差損益(△は益)	16
受取利息及び受取配当金	△11
支払利息	39
売上債権の増減額(△は増加)	△343
たな卸資産の増減額(△は増加)	△520
仕入債務の増減額(△は減少)	238
その他	△70
小計	1,117
利息及び配当金の受取額	11
利息の支払額	△39
法人税等の支払額	△30
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,153
有形固定資産の売却による収入	7
投資有価証券の取得による支出	△10
投資有価証券の売却による収入	15
その他	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	524
割賦債務の返済による支出	△124
自己株式の取得による支出	△16
配当金の支払額	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	206
現金及び現金同等物に係る換算差額	57
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72
現金及び現金同等物の期首残高	2,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,597

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	モータ		計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
	モータ (百万円)	応用製品 (百万円)			
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,212	2,262	15,474	—	15,474
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,212	2,262	15,474	—	15,474
2 営業費用	11,366	2,203	13,569	680	14,249
営業利益	1,846	59	1,905	(680)	1,225

(注) 1 事業区分の方法…製品の類似性に照らして事業区分を行っております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
モータ	ACサーボモータ、DCサーボモータ、シンクロナスモータ、インダクションモータ、DCモータ、ブラシレスDCモータ、ステッピングモータ、ファン、ポンプ、センサ等
モータ応用製品	モータ機構製品、医療関連製品、住宅関連製品等

3 営業費用の配賦方法の変更

前連結会計年度まで、提出会社の研究開発に係る費用は配賦不能営業費用として消去又は全社の項目に含めておりましたが、当連結会計年度から各セグメントへ配賦計算を行う方法に変更いたしました。この変更は、各セグメントの損益実態をより的確に把握することを目的といたしております。この変更による営業利益の影響は軽微であります。

4 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。

なお、これに伴う営業利益に与える影響は軽微であります。

前第2四半期連結累計期間（自平成19年4月1日至平成19年9月30日）

	モータ		計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
	モータ (百万円)	応用製品 (百万円)			
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	14,491	3,000	17,491	—	17,491
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,491	3,000	17,491	—	17,491
2 営業費用	13,596	2,803	16,399	667	17,066
営業利益	895	197	1,092	(667)	425

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	モータ		計	消去又は全社	連結
	モータ	応用製品			
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,562	1,183	7,745	—	7,745
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,562	1,183	7,745	—	7,745
2 営業費用	5,628	1,135	6,763	334	7,097
営業利益	934	48	982	(334)	648

前第2四半期連結会計期間（自平成19年7月1日至平成19年9月30日）

	モータ		計	消去又は全社	連結
	モータ	応用製品			
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,465	1,505	8,970	—	8,970
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,465	1,505	8,970	—	8,970
2 営業費用	6,429	1,344	7,773	329	8,102
営業利益	1,036	161	1,197	(329)	868

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,928	2,546	—	15,474	—	15,474
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,723	9,397	169	11,289	(11,289)	—
計	14,651	11,943	169	26,763	(11,289)	15,474
営業費用	14,209	10,445	128	24,782	(10,533)	14,249
営業利益	442	1,498	41	1,981	(756)	1,225

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、シンガポール、インドネシア

その他・・・アメリカ

3 営業費用のうち「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の主な内容は、「事業の種類別セグメント情報」の「注3」と同一であります。

4 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。

なお、これに伴う営業利益に与える影響は軽微であります。

前第2四半期連結累計期間（自平成19年4月1日至平成19年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	15,164	2,327	—	17,491	—	17,491
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,499	9,731	133	11,363	(11,363)	—
計	16,663	12,058	133	28,854	(11,363)	17,491
営業費用	16,175	11,422	118	27,715	(10,649)	17,066
営業利益	488	636	15	1,139	(714)	425

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	6,466	1,279	—	7,745	—	7,745
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	905	4,754	84	5,743	(5,743)	—
計	7,371	6,033	84	13,488	(5,743)	7,745
営業費用	7,158	5,261	62	12,481	(5,384)	7,097
営業利益	213	772	22	1,007	(359)	648

前第2四半期連結会計期間（自平成19年7月1日 至平成19年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	7,670	1,300	—	8,970	—	8,970
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	880	5,274	64	6,218	(6,218)	—
計	8,550	6,574	64	15,188	(6,218)	8,970
営業費用	7,836	6,071	59	13,966	(5,864)	8,102
営業利益	714	503	5	1,222	(354)	868

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,946	4,730	1,496	8,172
II 連結売上高(百万円)				15,474
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.6	30.6	9.7	52.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1)北米・・・・・・アメリカ、カナダ
 (2)アジア・・・・・・中国、シンガポール、インドネシア、韓国、台湾
 (3)その他の地域・・・・・・EU諸国、メキシコ
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第2四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,660	4,229	2,395	9,284
II 連結売上高(百万円)				17,491
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.2	24.2	9.7	53.1

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,015	2,385	812	4,212
II 連結売上高(百万円)				7,745
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.1	30.8	10.5	54.4

前第2四半期連結会計期間（自平成19年7月1日 至平成19年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,326	2,430	1,197	4,953
II 連結売上高(百万円)				8,970
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.8	27.1	13.3	55.2

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

「参考」

前中間連結損益計算書

		前中間連結会計期間 (自平成19年 4月 1日 至平成19年 9月30日)
区分	注記 番号	金額(百万円)
売上高		17,491
売上原価		14,680
売上総利益		2,811
販売費及び一般管理費		2,386
営業利益		425
営業外収益		
受取利息		25
受取配当金		4
負ののれん償却額		22
材料作業屑処分益		69
その他		80
営業外収益合計		200
営業外費用		
支払利息		135
為替差損		28
固定資産売却処分損		31
その他		32
営業外費用合計		226
経常利益		399
特別利益		
投資有価証券売却益		96
その他特別利益		14
特別利益合計		110
特別損失		
減損損失		22
特別損失合計		22
税金等調整前中間純利益		487
法人税、住民税及び事業税		60
法人税等調整額		70
法人税等合計		130
中間純利益		357

前中間連結キャッシュ・フロー計算書

		前中間連結会計期間 (自平成19年 4月 1日 至平成19年 9月30日)
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		487
減価償却費		614
減損損失		22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		△ 4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)		△ 92
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)		△ 225
製品保証等引当金の増減額 (△は減少)		36
固定資産処分損益 (△は益)		31
為替差損益 (△は益)		△ 98
受取利息及び受取配当金		△ 29
支払利息		135
売上債権の増減額 (△は増加)		△ 498
たな卸資産の増減額 (△は増加)		1,409
仕入債務の増減額 (△は減少)		△ 873
前受金の減少額		△ 8
その他		251
小計		1,158
利息及び配当金の受取額		29
利息の支払額		△ 135
法人税等の支払額		△ 15
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△ 671
投資有価証券の売却による収入		134
その他		25
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)		△ 93
割賦未払金の増加額		40
割賦未払金の支払額		△ 132
自己株式の純増減額 (△は増加)		△ 26
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 211
現金及び現金同等物に係る換算差額		13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		327
現金及び現金同等物の期首残高		2,519
現金及び現金同等物の中間期末残高		2,846

平成21年3月期（第74期）第2四半期連結決算概要

1. 連結業績の状況

	当第2四半期 (累計) 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前年 同期 増減率	前第2四半期 (累計) 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	当第2四半期 自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	前年 同期 増減率	前第2四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日
売上高	百万円 15,474	% △ 11.5	百万円 17,491	百万円 7,745	% △ 13.7	百万円 8,970
営業利益	1,225 (7.9%)	188.2	425 (2.4%)	648 (8.4%)	△ 25.3	868 (9.7%)
経常利益	1,317 (8.5%)	230.1	399 (2.3%)	694 (9.0%)	△ 5.3	733 (8.2%)
四半期純利益	1,007 (6.5%)	182.1	357 (2.0%)	555 (7.2%)	△ 12.5	634 (7.1%)
一株当たり 四半期純利益	円 銭 28.33	—	円 銭 10.03	円 銭 15.62	—	円 銭 17.82
潜在株調整後 一株当たり 四半期純利益	—	—	—	—	—	—

※ () 内は、対売上高比率

2. 連結財政状態

	当第2四半期末	前第2四半期末	前年度末
総資産	百万円 21,715	百万円 22,031	百万円 19,549
純資産	9,087	7,255	8,303
自己資本比率	% 41.8	% 32.9	% 42.5
1株当たり 純資産	円 銭 255.71	円 銭 203.96	円 銭 233.54
	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前年度
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円 1,059	百万円 1,037	百万円 4,422
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,250	△ 512	△ 1,167
財務活動による キャッシュ・フロー	206	△ 211	△ 2,976
現金及び現金同等物 期末残高	2,597	2,846	2,525

3. 配当の状況

	第2四半期末	期 末	年 間
20年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
21年3月期	5.00	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	10.00

※ 連結対象会社 9社 持分法適用会社 1社